



外国人と人権

発生 外国人をめぐる様々な人権問題の

表現」の他、「差別的憎悪表現」、「憎悪宣伝」、「差別的表現」、「差別表現」、「差別言論」、「差別扇動」、「差別扇動表現」、などと訳されます。

ヘイトスピーチ解消法の施行

今日、我が国に入国する外国人は長期的に増える傾向にあります。こうした中、言語、宗教、文化、習慣等の違いから、外国人をめぐつて様々な人権問題が発生しています。

例えば、外国人であることを理由に、アパートへの入居を拒否されたり、理容店において外国人であること的理由に理容サービスの提供を拒否されるといった事案が生じています。

また、近年、東京都内等で行われたデモにおいて、特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動が公然と行われていることが、マスコミ等によって「ヘイトスピーチ」とあるとして取り上げられている状況となっています。

市長室から
こんじゅは
市長日記
105

「ふしきの国のバード」 国東市長 三河 明史

あるとき新聞を読んでいると、ある本の広告が目に飛び込んできました。その本の名は、「ふしきの国のバード」。この本は、コミック誌いわゆるマンガ本です。

明治時代の初頭、イギリスの女性探検家イザベラ・バードが、一人の日本人の通訳を連れて、日光から、日本人でもよく知らない会津道を踏破し、新潟、山形、秋田、そして蝦夷地に至り、その旅を探検記「日本奥地紀行」として表しましたが、この本はそのコミック版なのです。

彼女のことばは聞いたことがあつたし、当時の日本がどうであつたのか彼女の目を通してではあるが、それを知りたいと猛烈に思い購入したのです。読んでみるとこれは大変面白い本なのです。

私ははじめ、英國という「文明国」の人間が当時の日本を「未開な野蛮な國」として書いていると思っていました。ところが違つたのです。彼女は、明治初頭のまだ「未開の國」であった日本のその奥地の風景や、日本人の生活や文化、そして日本の民衆について、実際に生き生きと書きとどめているのです。彼女は、店主が留守でも品物を盗まれないことに驚いたり、日光東照宮のおびただしい彫刻や日本料理の食器の美しさに驚嘆したりしながら旅を続けていきます。

旅行中、イギリスに住む妹のヘンリエッタへ数多くの手紙を書いており、作中にも出てくるのですが、「姉さんは今、日本というふしきな国を旅しています。三日間の約束で雇つた車夫達は、裸同然の格好で、全身に入れ墨をします。日本というふしきな国を旅しています。この地方では、スイカ、朝鮮人参、食用菊、搔きぢしゃ（レタス）、色々な作物を栽培して、本で読んだとおりの芸術的な風景です。あなたにも見せてあげたい、この美しい、おどぎのよくな国を」などと日本を紹介しています。

人権シリーズ vol.165

こころをつなぐ まちづくり

「ヘイトスピーチ解消法」が施行されてから四年目を迎えています。我が国におけるヘイトスピーチ問題への理解は進んでいます。まだ国民全体に理解が広まつたとは言えません。

法務省の人権擁護機関

については、ヘイトスピーチは許されないと、意識をより一層普及させるため、引き続き広報・啓発活動を行っています。

宿泊拒否事案への対応



ビジネスホテルに電話で宿泊の予約をしようとすると、外国人であることを理由に宿泊を拒否されたことがあります。法務局がホテル関係者から事情を聴取したところ、ホテル側は、不適切な対応があつたため、被害者に謝罪したいとの意向を有していたものの、行き違いにより、関係の回復が

(参考文献) 法務省
「ヘイトスピーチ、許さない。」「外国人の人権を尊重しましょ。」
文責:教育委員会武藏分室 田城

未だ図られていない状況であることが判明しました。
そこで、法務局は、ホテル側に被害者との話し合いの場を設けることを提案し、被害者も話し合いに応じる意向を示しました。
話し合いの場において、ホテル側は事情の説明と謝罪を行つたうえで、今後は、英語表記の対応マニュアルを活用するなどして外国人宿泊客の受け入れ体制を改善したい旨を伝えたところ、被害者もこれに理解を示したということです。

お互いの人権に配慮した行動をとりましょう

今年の七月には東京オリンピック、八月にはパラリンピック競技大会の開催を迎えることもあり、外国人と接する機会は益々増加することが予想されます。

外国人に対する偏見や差別をなくしていくため、文化等の多様性を認め、外国人の生活習慣等を理解・尊重するとともに、お互いの人権に配慮した行動をとることにしましょう。



大英帝国の女性旅行家
イザベラ・バード(1831-1904)

※馬子…駄馬を引いて人や荷物を運ぶのを業とする人。馬方。(日本国語大辞典・小学館)
※めんどしい…はずかしい。(大分方言語録・大分合同新聞社)

【引用文献】佐々大河(2015)「ふしきの国のバード」

KADOKAWAビームスコミックス

